

## 幼児教育学科第一部、幼児教育学科第三部（令和5年度・令和6年度入学生）

### 1. 履修とは

履修とは科目の選択から単位認定までの流れをいいます。

科目の選択 ⇒ 科目の登録 ⇒ 授業受講 ⇒ 試験の受験 ⇒ 単位認定

### 2. 履修する科目の選択と登録

履修する科目の選択と登録は、個人の自由意志によるところが大きいので、自己責任で行ってください。間違った選択、登録をしますと卒業できない場合や資格・免許の取得できない場合があります。履修指導をしっかりと受け、確実に登録してください。

なお、履修指導および科目の登録は各学期の初めに行われます。

### 3. 卒業に必要な要件とその単位数

(1) 基礎教養科目 12 単位以上

(2) 専門教育科目 48 単位以上（うち必修科目 31 単位）

社会福祉	2 単位	特別研究Ⅱ	1 単位	保育内容指導法（言葉）	1 単位
保育者論	2 単位	特別支援教育・保育概論	2 単位	子どもと言葉	1 単位
教育原理	2 単位	乳児保育Ⅰ	2 単位	子どもと表現	1 単位
保育原理Ⅰ	2 単位	保育内容指導法（健康）	1 単位	基礎音楽Ⅰ	1 単位
教育・保育の心理学	2 単位	子どもと健康	1 単位	幼児音楽Ⅰ	1 単位
子どもの理解と援助	1 単位	保育内容指導法（人間関係）	2 単位	造形Ⅰ	1 単位
保育カリキュラム論	2 単位	保育内容指導法（環境）	1 単位	合計 31 単位	
特別研究Ⅰ	1 単位	子どもと環境	1 単位		

(3) (1)と(2)の要件を満たし、卒業要件に含めることのできる科目の総合計 62 単位以上

## ディプロマポリシー

以下の能力を有する学生に短期大学士（教育学）の学位を授与します。

- ① 豊かな人間性と社会倫理を身に付けている。
- ② 幼児教育・保育の専門家として、専門的な知識や技能を修得している。
- ③ 幼児教育・保育の専門家として、学び続ける姿勢を持っている。
- ④ 幼児教育・保育の当事者と協働できるルール・マナーを身に付けている。
- ⑤ 社会の一員として貢献することができる。

## カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成指針）

幼児教育学科ディプロマ・ポリシーを達成するために、以下の方針で教育課程を編成し、実施します。

- ① 基礎教養、専門知識・技能を身に付ける体系的な教育課程を編成する。
- ② 基礎教養科目においては豊かで柔軟な人間性を育み、広く一般教養を身に付けることで、専門科目で学ぶための基本的素養・能力を養う。
- ③ 専門教育科目においては幼児教育・保育の目的と使命、子どもの理解に関わる専門知識・技能を学ぶ。
- ④ 講義、演習、実習等を通して、学生の主体的及び協働的な学びを推進する。
- ⑤ 学修の過程を通じて、成績評価の方法・基準に基づき、適切に評価する。

## 幼児教育学科第三部（令和4年度入学生）

### 1. 履修とは

履修とは科目の選択から単位認定までの流れをいいます。

科目の選択 ⇒ 科目の登録 ⇒ 授業受講 ⇒ 試験の受験 ⇒ 単位認定

### 2. 履修する科目の選択と登録

履修する科目の選択と登録は、個人の自由意志によるところが大きいので、自己責任で行ってください。間違った選択、登録をしますと卒業できない場合や資格・免許の取得できない場合があります。履修指導をしっかり受け、確実に登録してください。

なお、履修指導および科目の登録は各学期の初めに行われます。

### 3. 卒業に必要な要件とその単位数

(1) 基礎教養科目 12 単位以上

(2) 専門教育科目 48 単位以上（うち必修科目 31 単位）

社会福祉	2 単位	卒業研究Ⅱ	1 単位	保育内容指導法（言葉）	1 単位
保育者論	2 単位	特別支援教育・保育概論	2 単位	子どもと言葉	1 単位
教育原理	2 単位	乳児保育Ⅰ	2 単位	子どもと表現	1 単位
保育原理Ⅰ	2 単位	保育内容指導法（健康）	1 単位	基礎音楽Ⅰ	1 単位
教育・保育の心理学	2 単位	子どもと健康	1 単位	幼児音楽Ⅰ	1 単位
子どもの理解と援助	1 単位	保育内容指導法（人間関係）	2 単位	造形Ⅰ	1 単位
保育カリキュラム論	2 単位	保育内容指導法（環境）	1 単位	合計 31 単位	
卒業研究Ⅰ	1 単位	子どもと環境	1 単位		

(3) (1)と(2)の要件を満たし、卒業要件に含めることのできる科目の総合計 62 単位以上

## ディプロマポリシー

以下の能力を有する学生に短期大学士（教育学）の学位を授与します。

- ① 豊かな人間性と社会倫理を身に付けている。
- ② 幼児教育・保育の専門家として、専門的な知識や技能を修得している。
- ③ 幼児教育・保育の専門家として、学び続ける姿勢を持っている。
- ④ 幼児教育・保育の当事者と協働できるルール・マナーを身に付けている。
- ⑤ 社会の一員として貢献することができる。

## カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成指針）

幼児教育学科ディプロマ・ポリシーを達成するために、以下の方針で教育課程を編成し、実施します。

- ① 基礎教養、専門知識・技能を身に付ける体系的な教育課程を編成する。
- ② 基礎教養科目においては豊かで柔軟な人間性を育み、広く一般教養を身に付けることで、専門科目で学ぶための基本的素養・能力を養う。
- ③ 専門教育科目においては幼児教育・保育の目的と使命、子どもの理解に関わる専門知識・技能を学ぶ。
- ④ 講義、演習、実習等を通して、学生の主体的及び協働的な学びを推進する。
- ⑤ 学修の過程を通じて、成績評価の方法・基準に基づき、適切に評価する。

卒業

国家・社会に貢献できる人材

実践力

DP①: 倫理 豊かな人間性と、社会倫理を身に付けている。 (A)	DP②: 知識・技能 幼児教育・保育の専門家として、専門的な知識や技能を修得している。 (A・B・C・D)	DP③: 主体性・多様性 幼児教育・保育の専門家として、学び続ける姿勢を持っている。 (E)	DP④: 協働性・判断力 幼児教育・保育の当事者と協働できるルール・マナーを身に付けている。 (E)	DP⑤: 社会性 社会の一員として貢献することができる。 (F)
---	---	--	--	--

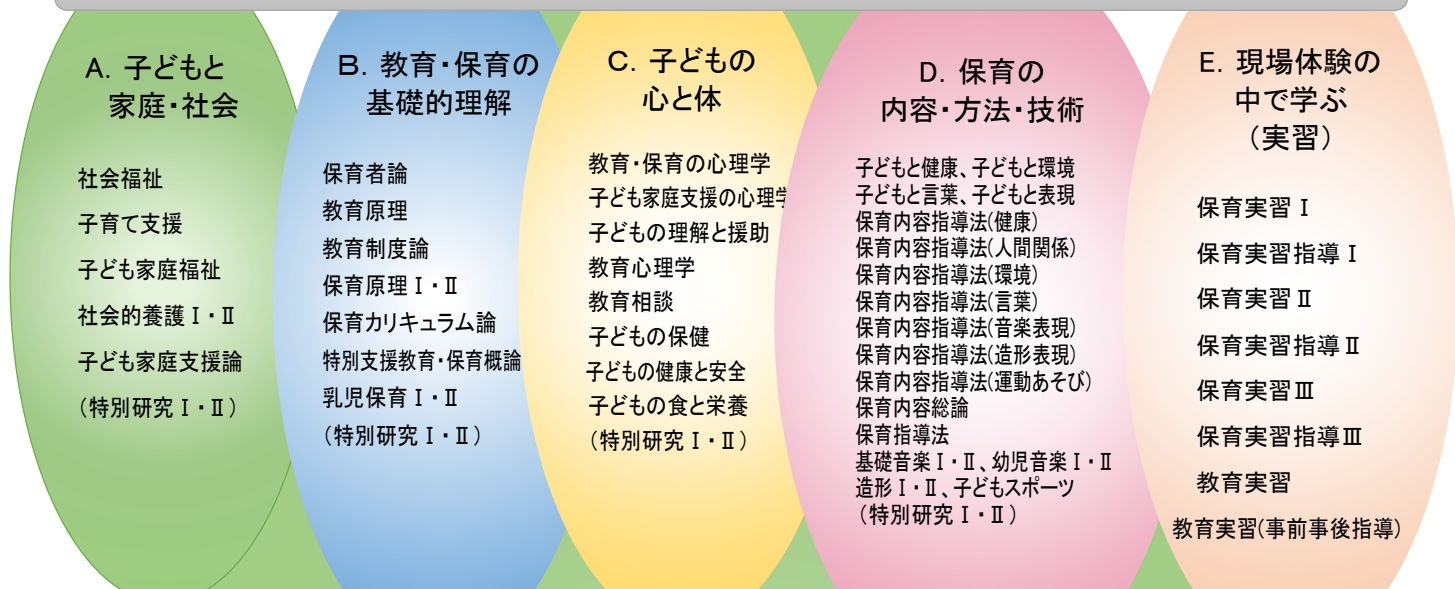
<幼稚園教諭養成課程> 幼稚園教諭二種免許状

教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	領域及び保育内容の指導法に関する科目	教育実践に関する科目
----------------	-------------------------------------	--------------------	------------

<保育士養成課程> 保育士資格

保育の目的・本質に関する科目	保育対象の理解に関する科目	保育の内容・方法に関する科目	保育実践に関する科目
----------------	---------------	----------------	------------

保育・教職実践演習(幼稚園)



F. 社会人としての基礎(基礎教養科目)

日本の憲法 経済と社会 スポーツ スポーツ・健康概論 基礎英語 実用英語 情報処理演習Ⅰ・Ⅱ 日本語表現

基礎演習Ⅰ・Ⅱ

オリエンテーション

リメディアル教育

入学

入学前教育

幼児教育学科カリキュラムマップ(令和6年度入学生)

ディプロマポリシー (DP) 授業科目		①豊かな人間性と、社会倫理を身に付けている。(倫理) ②幼児教育・保育の専門家として、専門的な知識や技能を修得している。(知識、技能) ③幼児教育・保育の専門家として、学び続ける姿勢を持っている。(主体性、多様性) ④幼児教育・保育の当事者と協働できるルール・マナーを身に付けている。(協働性・責任感) ⑤社会の一員として貢献することができる。(社会性)					
		A DP①	B DP①②	C DP①②	D DP①②	E DP①③④	F DP⑤
		“子どもと家族・社会”の課題の理解と解決方法を考察	保育の基礎・表現技術の理解と習得	子どもの心と体の理解	保育の内容・方法の理解と習得	現場体験と、保育者のマナーの習得	社会人としての基礎知識・基礎能力の習得
基礎 教養 科目	日本の憲法	○					◎
	経済と社会	○					◎
	スポーツ						◎
	スポーツ・健康概論						◎
	基礎英語		○				◎
	実用英語		○				◎
	日本語表現		○				◎
	情報処理演習Ⅰ						◎
	情報処理演習Ⅱ						◎
	基礎演習Ⅰ		○			○	◎
基礎演習Ⅱ		○			○	◎	
専門 教育 科目	社会福祉	◎		○			
	子育て支援	◎		○			
	子ども家庭福祉	◎		○			
	保育者論	○	◎				
	教育原理	○	◎				
	教育制度論	○	◎				
	保育原理Ⅰ	○	◎		○		
	保育原理Ⅱ		◎	○	○		
	社会的養護Ⅰ	◎		○	○		
	社会的養護Ⅱ	◎		○			
	保育実習Ⅰ	○	○	○	○	◎	○
	保育実習指導Ⅰ	○	○	○	○	◎	○
	保育実習Ⅱ	○	○	○	○	◎	○
	保育実習指導Ⅱ	○	○	○	○	◎	○
	保育実習Ⅲ	○	○	○	○	◎	○
	保育実習指導Ⅲ	○	○	○	○	◎	○
	教育・保育の心理学	○		◎			
	子ども家庭支援の心理学	○		◎			
	子どもの理解と援助	○		◎			
	教育相談	○		◎			
	子どもの保健	○		◎			
	子どもの健康と安全	○		◎			
	子ども家庭支援論	◎		○			
	子どもの食と栄養	○		◎			
	保育カリキュラム論		◎	○	○		
	保育指導法	○	◎				○
	特別研究Ⅰ		○		◎		
	特別研究Ⅱ		○		◎		
	特別支援教育・保育概論	○	◎	○	○		
	乳児保育Ⅰ		◎	○	○		
	乳児保育Ⅱ		◎	○	○		
	教育実習(事前・事後指導)	○	○	○	○	◎	○
	教育実習	○	○	○	○	◎	○
	保育・教職実践演習(幼稚園)	○	◎	○	○	○	○
	保育内容指導法(健康)			○	◎		
	子どもと健康			○	◎		
	保育内容指導法(人間関係)			○	◎		
	保育内容指導法(環境)	○			◎		
	子どもと環境	○			◎		
	保育内容指導法(言葉)			○	◎		
子どもと言葉			○	◎			
保育内容指導法(音楽表現)			○	◎			
保育内容指導法(造形表現)			○	◎			
保育内容指導法(運動あそび)			○	◎			
子どもと表現			○	◎			
保育内容総論	○	◎	○	○			
基礎音楽Ⅰ		◎		○			
基礎音楽Ⅱ		◎		○			
幼児音楽Ⅰ		◎		○			
幼児音楽Ⅱ		◎		○			
造形Ⅰ		◎		○			
造形Ⅱ		◎		○			
子どもスポーツ		◎	○	○			

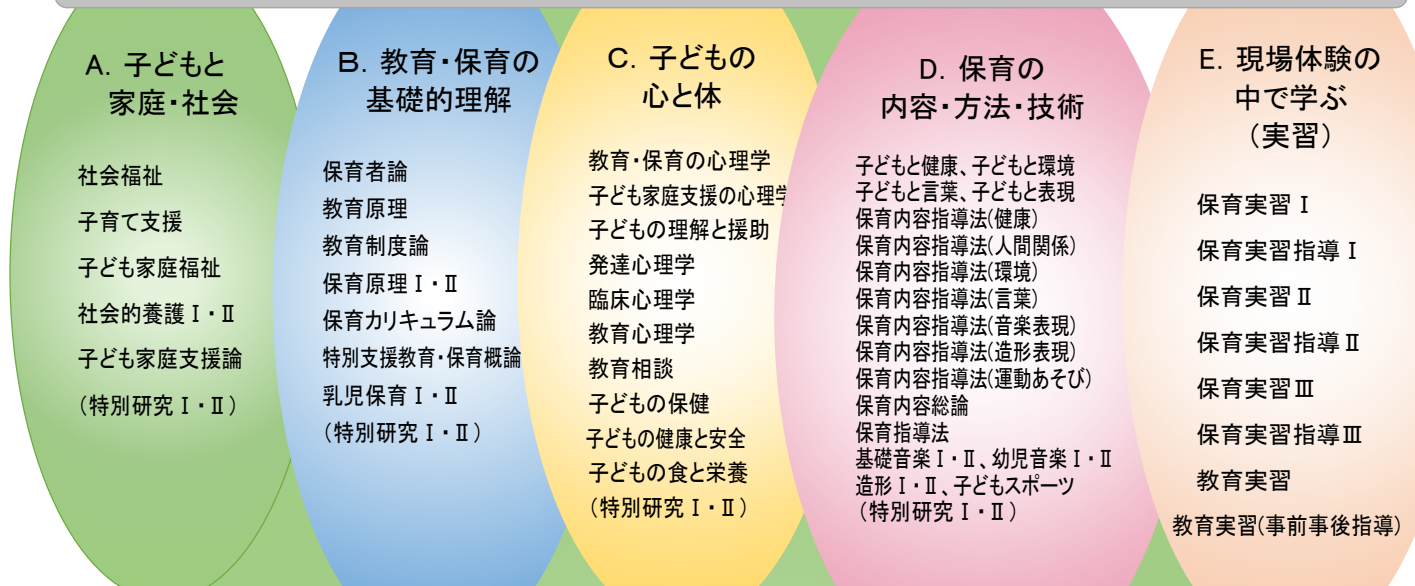
**卒業**  
国家・社会に貢献できる人材

実践力				
DP①: 倫理 豊かな人間性と、社会倫理を身に付けている。(A)	DP②: 知識・技能 幼児教育・保育の専門家として、専門的な知識や技能を修得している。(A・B・C・D)	DP③: 主体性・多様性 幼児教育・保育の専門家として、学び続ける姿勢を持っている。(E)	DP④: 協働性・判断力 幼児教育・保育の当事者と協働できるルール・マナーを身に付けている。(E)	DP⑤: 社会性 社会の一員として貢献することができる。(F)

＜幼稚園教諭養成課程＞		幼稚園教諭二種免許状	
教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	領域及び保育内容の指導法に関する科目	教育実践に関する科目

＜保育士養成課程＞		保育士資格	
保育の目的・本質に関する科目	保育対象の理解に関する科目	保育の内容・方法に関する科目	保育実践に関する科目

保育・教職実践演習(幼稚園)



F. 社会人としての基礎(基礎教養科目)	
日本の憲法 経済と社会 スポーツ スポーツ・健康概論 基礎英語 実用英語 情報処理演習Ⅰ・Ⅱ 日本語表現	

基礎演習Ⅰ・Ⅱ

オリエンテーション	リメディアル教育
-----------	----------

**入学**

入学前教育

幼児教育学科カリキュラムマップ(令和5年度入学生)

ディプロマポリシー (DP) 授業科目		①豊かな人間性と、社会倫理を身に付けている。(倫理) ②幼児教育・保育の専門家として、専門的な知識や技能を修得している。(知識、技能) ③幼児教育・保育の専門家として、学び続ける姿勢を持っている。(主体性、多様性) ④幼児教育・保育の当事者と協働できるルール・マナーを身に付けている。(協働性・責任感) ⑤社会の一員として貢献することができる。(社会性)					
		A DP①	B DP①②	C DP①②	D DP①②	E DP①③④	F DP⑤
		“子どもと家族・社会”の課題の理解と解決方法を考察	保育の基礎・表現技術の理解と習得	子どもの心と体の理解	保育の内容・方法の理解と習得	現場体験と、保育者のマナーの習得	社会人としての基礎知識・基礎能力の習得
基礎 教養 科目	日本の憲法	○					◎
	経済と社会	○					◎
	スポーツ						◎
	スポーツ・健康概論						◎
	基礎英語		○				◎
	実用英語		○				◎
	日本語表現		○				◎
	情報処理演習Ⅰ						◎
	情報処理演習Ⅱ						◎
	基礎演習Ⅰ		○			○	◎
基礎演習Ⅱ		○			○	◎	
専門 教育 科目	社会福祉	◎		○			
	子育て支援	◎		○			
	子ども家庭福祉	◎		○			
	保育者論	○	◎				
	教育原理	○	◎				
	教育制度論	○	◎				
	保育原理Ⅰ	○	◎		○		
	保育原理Ⅱ		◎	○	○		
	社会的養護Ⅰ	◎		○	○		
	社会的養護Ⅱ	◎		○			
	保育実習Ⅰ	○	○	○	○	◎	○
	保育実習指導Ⅰ	○	○	○	○	◎	○
	保育実習Ⅱ	○	○	○	○	◎	○
	保育実習指導Ⅱ	○	○	○	○	◎	○
	保育実習Ⅲ	○	○	○	○	◎	○
	保育実習指導Ⅲ	○	○	○	○	◎	○
	教育・保育の心理学	○		◎			
	子ども家庭支援の心理学	○		◎			
	子どもの理解と援助	○		◎			
	発達心理学	○		◎			
	臨床心理学	○		◎			
	教育相談	○		◎			
	子どもの保健	○		◎			
	子どもの健康と安全	○		◎			
	子ども家庭支援論	◎		○			
	子どもの食と栄養	○		◎			
	保育カリキュラム論		◎	○	○		
	保育指導法	○	◎				○
	特別研究Ⅰ		○		◎		
	特別研究Ⅱ		○		◎		
	特別支援教育・保育概論	○	◎	○			
	乳児保育Ⅰ		◎	○	○		
	乳児保育Ⅱ		◎	○	○		
	教育実習(事前・事後指導)	○	○	○	○	◎	○
	教育実習	○	○	○	○	◎	○
	保育・教職実践演習(幼稚園)	○	◎	○	○	○	○
	保育内容指導法(健康)			○	◎		
	子どもと健康			○	◎		
	保育内容指導法(人間関係)			○	◎		
	保育内容指導法(環境)				◎		
	子どもと環境	○			◎		
	保育内容指導法(言葉)		○		◎		
	子どもと言葉		○		◎		
	保育内容指導法(音楽表現)		○		◎		
	保育内容指導法(造形表現)		○		◎		
保育内容指導法(運動あそび)		○		◎			
子どもと表現		○		◎			
保育内容総論	○	◎	○	○			
基礎音楽Ⅰ		◎		○			
基礎音楽Ⅱ		◎		○			
幼児音楽Ⅰ		◎		○			
幼児音楽Ⅱ		◎		○			
造形Ⅰ		◎		○			
造形Ⅱ		◎		○			
子どもスポーツ		◎	○	○			

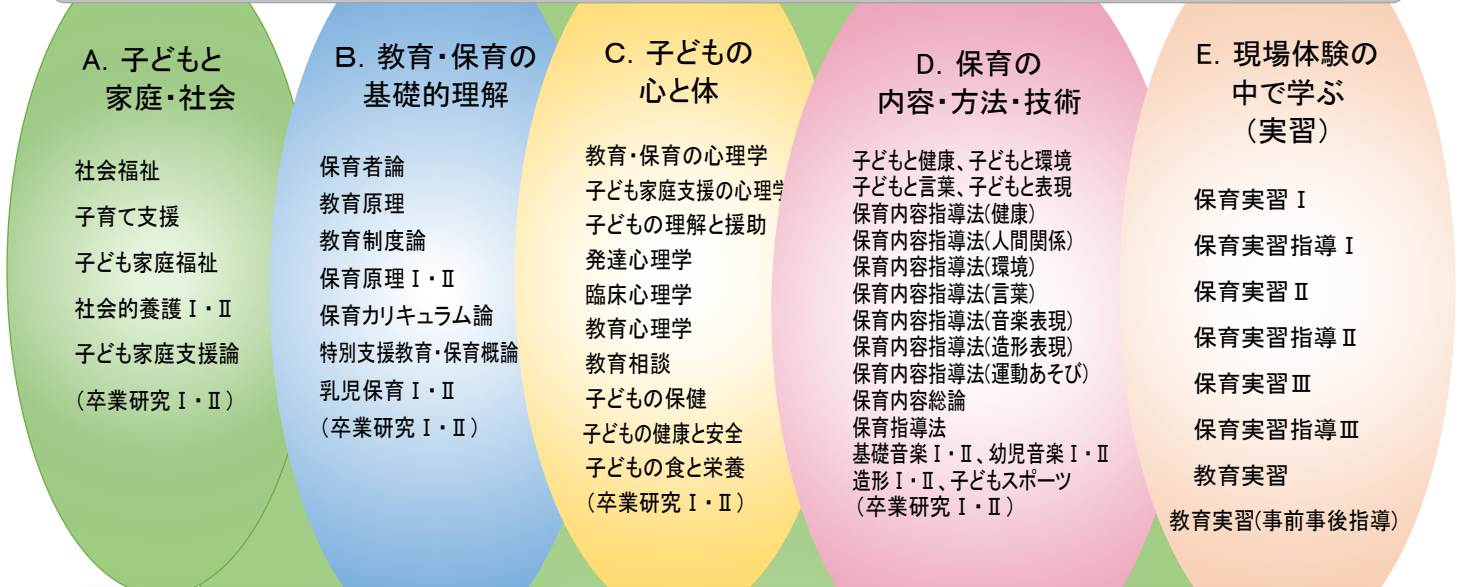
**卒業**  
国家・社会に貢献できる人材

実践力				
DP①: 倫理 豊かな人間性と、社会倫理を身に付けている。(A)	DP②: 知識・技能 幼児教育・保育の専門家として、専門的な知識や技能を修得している。(A・B・C・D)	DP③: 主体性・多様性 幼児教育・保育の専門家として、学び続ける姿勢を持っている。(E)	DP④: 協働性・判断力 幼児教育・保育の当事者と協働できるルール・マナーを身に付けている。(E)	DP⑤: 社会性 社会の一員として貢献することができる。(F)

＜幼稚園教諭養成課程＞		幼稚園教諭二種免許状	
教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	領域及び保育内容の指導法に関する科目	教育実践に関する科目

＜保育士養成課程＞		保育士資格	
保育の目的・本質に関する科目	保育対象の理解に関する科目	保育の内容・方法に関する科目	保育実践に関する科目

保育・教職実践演習(幼稚園)



**F. 社会人としての基礎(基礎教養科目)**

日本の憲法 経済と社会 スポーツ スポーツ・健康概論 基礎英語 実用英語 情報処理演習Ⅰ・Ⅱ 日本語表現

基礎演習Ⅰ・Ⅱ

オリエンテーション	リメディアル教育
-----------	----------

**入学**  
入学前教育



幼児教育学科カリキュラムマップ(令和4年度入学生)

ディプロマポリシー (DP) 授業科目		①豊かな人間性と、社会倫理を身に付けている。(倫理) ②幼児教育・保育の専門家として、専門的な知識や技能を修得している。(知識、技能) ③幼児教育・保育の専門家として、学び続ける姿勢を持っている。(主体性、多様性) ④幼児教育・保育の当事者と協働できるルール・マナーを身に付けている。(協働性・責任感) ⑤社会の一員として貢献することができる。(社会性)					
		A DP①	B DP①②	C DP①②	D DP①②	E DP①③④	F DP⑤
		“子どもと家族・社会”の課題の理解と解決方法を考察	保育の基礎・表現技術の理解と習得	子どもの心と体の理解	保育の内容・方法の理解と習得	現場体験と、保育者のマナーの習得	社会人としての基礎知識・基礎能力の習得
基礎 教養 科目	日本の憲法	○					◎
	経済と社会	○					◎
	スポーツ						◎
	スポーツ・健康概論						◎
	基礎英語		○				◎
	実用英語		○				◎
	日本語表現		○				◎
	情報処理演習Ⅰ						◎
	情報処理演習Ⅱ						◎
	基礎演習Ⅰ		○			○	◎
基礎演習Ⅱ		○			○	◎	
専門 教育 科目	社会福祉	◎		○			
	子育て支援	◎		○			
	子ども家庭福祉	◎		○			
	保育者論	○	◎				
	教育原理	○	◎				
	教育制度論	○	◎				
	保育原理Ⅰ	○	◎		○		
	保育原理Ⅱ		◎	○	○		
	社会的養護Ⅰ	◎		○	○		
	社会的養護Ⅱ	◎		○			
	保育実習Ⅰ	○	○	○	○	◎	○
	保育実習指導Ⅰ	○	○	○	○	◎	○
	保育実習Ⅱ	○	○	○	○	◎	○
	保育実習指導Ⅱ	○	○	○	○	◎	○
	保育実習Ⅲ	○	○	○	○	◎	○
	保育実習指導Ⅲ	○	○	○	○	◎	○
	教育・保育の心理学	○		◎			
	子ども家庭支援の心理学	○		◎			
	子どもの理解と援助	○		◎			
	発達心理学	○		◎			
	臨床心理学	○		◎			
	教育相談	○		◎			
	子どもの保健	○		◎			
	子どもの健康と安全	○		◎			
	子ども家庭支援論	◎		○			
	子どもの食と栄養	○		◎			
	保育カリキュラム論		◎	○	○		
	保育指導法	○	◎				○
	卒業研究Ⅰ		○		◎		
	卒業研究Ⅱ		○		◎		
	特別支援教育・保育概論	○	◎	○			
	乳児保育Ⅰ		◎	○	○		
	乳児保育Ⅱ		◎	○	○		
	教育実習(事前・事後指導)	○	○	○	○	◎	○
	教育実習	○	○	○	○	◎	○
	保育・教職実践演習(幼稚園)	○	◎	○	○	○	○
	保育内容指導法(健康)			○	◎		
	子どもと健康			○	◎		
	保育内容指導法(人間関係)			○	◎		
	保育内容指導法(環境)				◎		
子どもと環境	○			◎			
保育内容指導法(言葉)		○		◎			
子どもと言葉		○		◎			
保育内容指導法(音楽表現)		○		◎			
保育内容指導法(造形表現)		○		◎			
保育内容指導法(運動あそび)		○		◎			
子どもと表現		○		◎			
保育内容総論	○	◎	○	○			
基礎音楽Ⅰ		◎		○			
基礎音楽Ⅱ		◎		○			
幼児音楽Ⅰ		◎		○			
幼児音楽Ⅱ		◎		○			
造形Ⅰ		◎		○			
造形Ⅱ		◎		○			
子どもスポーツ		◎	○	○			





令和5年度入学生

授業科目		授業形態	単位数	卒業要件		幼稚園教諭二種免許状		保育士資格		開講期								
										第一部			第三部					
										1年	2年	1年	2年	3年				
				必修	選択	必修	選択	必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
基礎教養科目	日本の憲法	講義	2		○		○	○										
	経済と社会	第三部は、1科目選	講義		○			○		□								
	日本語表現		講義		○			○		□								
	スポーツ・健康概論	講義	1		○		○	○			□							
	スポーツ	実技	1		○		○	○		□								
	基礎英語	演習	1		○		○	○		□								
	実用英語	演習	1		○		○	○			□							
	情報処理演習Ⅰ	演習	1		○		○	○		□								
	情報処理演習Ⅱ	演習	1		○		○	○			□							
	基礎演習Ⅰ	演習	1		○			○		□								
	基礎演習Ⅱ	演習	1		○			○			□							
	専門教育科目	社会福祉	講義	2		○			○			□						
		子育て支援	演習	1		○			○							□		
子ども家庭福祉		講義	2		○			○						□				
保育者論		講義	2		○		○	○						□				
教育原理		講義	2		○		○	○		□					□			
教育制度論		講義	2		○	○		○			□				□			
保育原理Ⅰ		講義	2		○			○		□					□			
保育原理Ⅱ		講義	2			○		○			□				□			
社会的養護Ⅰ		講義	2		○			○			□				□			
社会的養護Ⅱ		演習	1		○			○						□				
保育実習Ⅰ		実習	4		○			○			集中		集中					
保育実習指導Ⅰ		演習	2		○			○			□		□	□				
保育実習Ⅱ		Ⅱ又はⅢを選択	実習	2		○		○			集中				集中			
保育実習指導Ⅱ			演習	1		○		○			□				□			
保育実習Ⅲ			実習	2		○		○			集中				集中			
保育実習指導Ⅲ			演習	1		○		○			□				□			
教育・保育の心理学		講義	2		○			○			□				□			
子ども家庭支援の心理学		講義	2		○			○							□			
子どもの理解と援助		演習	1		○			○		□			□					
発達心理学		1科目選択	演習	2		○		○			□				□			
臨床心理学			演習	2		○		○			□				□			
教育相談		演習	2		○			○			□				□			
子どもの保健		講義	2		○			○			□				□			
子どもの健康と安全		演習	1		○			○				□			□			
子ども家庭支援論		講義	2		○			○				□			□			
子どもの食と栄養		演習	2		○			○		□					□			
保育カリキュラム論		講義	2		○			○			□				□			
保育指導法		演習	2		○			○				□			□			
特別研究Ⅰ		演習	1		○			○				□			□			
特別研究Ⅱ		演習	1		○			○				□			□			
特別支援教育・保育概論		演習	2		○			○					□					
乳児保育Ⅰ		講義	2		○			○		□			□					
乳児保育Ⅱ		演習	1		○			○					□					
教育実習(事前・事後指導)		講義	1		○			○					□					
教育実習		実習	4		○			○							集中			
保育・教職実践演習(幼稚園)		演習	2		○			○			集中	集中		集中				
保育内容指導法(健康)		演習	1		○			○				□			□			
子どもと健康		演習	1		○			○			□				□			
保育内容指導法(人間関係)		演習	2		○			○				□			□			
保育内容指導法(環境)		演習	1		○			○				□			□			
子どもと環境	演習	1		○			○			□				□				
保育内容指導法(言葉)	演習	1		○			○				□			□				
子どもと言葉	演習	1		○			○				□			□				
保育内容指導法(音楽表現)	演習	1		○		○	○							□				
保育内容指導法(造形表現)	演習	1		○		○	○							□				
保育内容指導法(運動あそび)	演習	1		○		○	○							□				
子どもと表現	演習	1		○		○	○							□				
保育内容総論	演習	1		○		○	○							□				
基礎音楽Ⅰ	演習	1		○			○		□			□						
基礎音楽Ⅱ	演習	1		○			○			□			□					
幼児音楽Ⅰ	演習	1		○			○				□			□				
幼児音楽Ⅱ	演習	1		○			○					□		□				
造形Ⅰ	演習	1		○			○		□					□				
造形Ⅱ	演習	1		○			○			□				□				
子どもスポーツ	演習	1		○			○							□				

卒業には、基礎教養科目+専門教育科目で62単位以上必要  
必修科目を48単位以上取得

必修科目全科目取得

12単位以上取得

必修科目全科目取得・選択科目9単位以上取得

必修科目を含め8単位以上取得

Ⅱ又はⅢを選択必修

令和4年度入学生

授業科目	授業形態	単位数	卒業要件		幼稚園教諭二種免許状		保育士資格		開講期											
			必修	選択	必修	選択	必修	選択	第三部											
									1年		2年		3年							
								前期	後期	前期	後期	前期	後期							
基礎教養科目	日本の憲法	講義	2		○			○												
	経済と社会	講義	2		○			○		□										
	日本語表現	講義	2		○			○		□										
	スポーツ・健康概論	講義	1		○			○			□									
	スポーツ	実技	1		○			○		□										
	基礎英語	演習	1		○			○		□										
	実用英語	演習	1		○			○			□									
	情報処理演習Ⅰ	演習	1		○			○		□										
	情報処理演習Ⅱ	演習	1		○			○			□									
	基礎演習Ⅰ	演習	1		○			○		□										
	基礎演習Ⅱ	演習	1		○			○			□									
	専門教育科目	社会福祉	講義	2		○			○			□								
子育て支援		演習	1		○			○												□
子ども家庭福祉		講義	2		○			○				□								
保育者論		講義	2		○			○				□								
教育原理		講義	2		○			○		□										
教育制度論		講義	2		○			○												□
保育原理Ⅰ		講義	2		○			○			□									
保育原理Ⅱ		講義	2		○			○												□
社会的養護Ⅰ		講義	2		○			○				□								
社会的養護Ⅱ		演習	1		○			○					□							
保育実習Ⅰ		実習	4		○			○				集中								
保育実習指導Ⅰ		演習	2		○			○				□	□							
保育実習Ⅱ		実習	2		○			○												集中
保育実習指導Ⅱ		演習	1		○			○												□
保育実習Ⅲ		実習	2		○			○												集中
保育実習指導Ⅲ		演習	1		○			○												□
教育・保育の心理学		講義	2		○			○		□										
子ども家庭支援の心理学		講義	2		○			○												□
子どもの理解と援助		演習	1		○			○				□								
発達心理学		演習	2		○			○					□							
臨床心理学		演習	2		○			○					□							
教育相談		演習	2		○			○												□
子どもの保健		講義	2		○			○				□								
子どもの健康と安全		演習	1		○			○												□
子ども家庭支援論		講義	2		○			○												□
子どもの食と栄養		演習	2		○			○												□
保育カリキュラム論		講義	2		○			○												□
保育指導法		演習	2		○			○												□
卒業研究Ⅰ		演習	1		○			○												□
卒業研究Ⅱ		演習	1		○			○												□
特別支援教育・保育概論		演習	2		○			○				集中								
乳児保育Ⅰ		講義	2		○			○				□								
乳児保育Ⅱ		演習	1		○			○					□							
教育実習(事前・事後指導)		講義	1		○			○				□								
教育実習		実習	4		○			○				集中								集中
保育・教職実践演習(幼稚園)		演習	2		○			○												□
保育内容指導法(健康)		演習	1		○			○						□						
子どもと健康		演習	1		○			○					□							
保育内容指導法(人間関係)		演習	2		○			○					□							
保育内容指導法(環境)		演習	1		○			○						□						
子どもと環境	演習	1		○			○					□								
保育内容指導法(言葉)	演習	1		○			○												□	
子どもと言葉	演習	1		○			○												□	
保育内容指導法(音楽表現)	演習	1		○			○												□	
保育内容指導法(造形表現)	演習	1		○			○												□	
保育内容指導法(運動あそび)	演習	1		○			○												□	
子どもと表現	演習	1		○			○												□	
保育内容総論	演習	1		○			○			□										
基礎音楽Ⅰ	演習	1		○			○			□										
基礎音楽Ⅱ	演習	1		○			○				□									
幼児音楽Ⅰ	演習	1		○			○					□								
幼児音楽Ⅱ	演習	1		○			○						□							
造形Ⅰ	演習	1		○			○			□										
造形Ⅱ	演習	1		○			○						□							
子どもスポーツ	演習	1		○			○												□	

卒業には、基礎教養科目+専門教育科目で62単位以上必要  
必修科目を含め48単位以上取得

必修科目全科目取得

必修科目全科目取得

12単位以上取得

必修科目を含め8単位以上取得

II又はIIIを選択必修  
必修科目全科目取得・選択科目9単位以上取得

# 資格取得に必要な科目一覧

## 幼稚園教諭二種免許状（令和6年度入学生）

科目		形態	単位数	選択・必修				
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	本学の科目名			必修	選択			
教養科目	日本国憲法	日本の憲法	講義	2	○			
	体育	スポーツ・健康概論	講義	1	○			
		スポーツ	実技	1	○			
	外国語コミュニケーション	基礎英語	演習	1	○			
		実用英語	演習	1	○			
	情報機器の操作	情報処理演習Ⅰ	演習	1	○			
情報処理演習Ⅱ		演習	1	○				
専門科目	領域及び保育内容の指導法に関する科目(12単位以上)	領域に関する専門的事項	子どもと健康	演習	1	○		
			子どもと環境	演習	1	○		
			子どもと言葉	演習	1	○		
			子どもと表現	演習	1	○		
		保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)	保育内容指導法(健康)	演習	1	○		
			保育内容指導法(環境)	演習	1	○		
			保育内容指導法(人間関係)	演習	2	○		
			保育内容指導法(言葉)	演習	1	○		
			保育内容指導法(音楽表現)	演習	1		○	
			保育内容指導法(造形表現)	演習	1		○	
	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	講義	2	○		
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校への対応含む。)	保育者論	講義	2	○		
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育制度論	講義	2	○		
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育・保育の心理学	講義	2	○		
		特別支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育・保育概論	演習	2	○		
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	保育カリキュラム論	講義	2	○		
		道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	保育指導法	演習	2	○	
			幼児理解の理論及び方法	子どもの理解と援助	演習	1	○	
教育相談(カウンセリングに関する基本的な知識を含む。)	教育相談		演習	2	○			
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習(事前・事後指導)	講義	1	○			
		教育実習	実習	4	○			
	教職実践演習	保育・教職実践演習(幼稚園)	演習	2	○			

注

- (1) 教養科目は、教育職員免許法施行規則に定める科目区分で4科目8単位が必修である。
- (2) 資格取得のためには、本学を卒業することが必要であり、卒業要件を充たす単位を修得しなければならない。

# 資格取得に必要な科目一覧

## 幼稚園教諭二種免許状（令和4年度・5年度入学生）

科目		形態	単位数	選択・必修			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	本学の科目名			必修	選択		
教養科目	日本国憲法	日本の憲法	講義	2	○		
	体育	スポーツ・健康概論	講義	1	○		
		スポーツ	実技	1	○		
	外国語コミュニケーション	基礎英語	演習	1	○		
		実用英語	演習	1	○		
	情報機器の操作	情報処理演習Ⅰ	演習	1	○		
情報処理演習Ⅱ		演習	1	○			
専門科目	領域及び保育内容の指導法に関する科目(12単位以上)	領域に関する専門的事項	子どもと健康	演習	1	○	
			子どもと環境	演習	1	○	
			子どもと言葉	演習	1	○	
			子どもと表現	演習	1	○	
		保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)	保育内容指導法(健康)	演習	1	○	
			保育内容指導法(環境)	演習	1	○	
			保育内容指導法(人間関係)	演習	2	○	
			保育内容指導法(言葉)	演習	1	○	
			保育内容指導法(音楽表現)	演習	1		○
			保育内容指導法(造形表現)	演習	1		○
	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	講義	2	○	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校への対応含む。)	保育者論	講義	2	○	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育制度論	講義	2	○	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育・保育の心理学	講義	2	○	
		特別支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育・保育概論	演習	2	○	
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	保育カリキュラム論	講義	2	○	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	保育指導法	演習	2	○		
	幼児理解の理論及び方法	子どもの理解と援助	演習	1	○		
	教育相談(カウンセリングに関する基本的な知識を含む。)	教育相談	演習	2	○		
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習(事前・事後指導)	講義	1	○		
		教育実習	実習	4	○		
	教職実践演習	保育・教職実践演習(幼稚園)	演習	2	○		

注

- (1) 教養科目は、教育職員免許法施行規則に定める科目区分で4科目8単位が必修である。
- (2) 資格取得のためには、本学を卒業することが必要であり、卒業要件を充たす単位を修得しなければならない。

# 資格取得に必要な科目一覧

## 保育士（令和6年度入学生）

系列		科目	形態	単位数	選択・必修							
		科目名			必修	選択						
教養科目 [10単位以上開設 8単位以上取得]		日本の憲法	講義	2		○						
		経済と社会	講義	2		○						
		日本語表現	講義	2		○						
		情報処理演習Ⅰ	演習	1		○						
		情報処理演習Ⅱ	演習	1		○						
		基礎演習Ⅰ	演習	1		○						
		基礎演習Ⅱ	演習	1		○						
		基礎英語	演習	1	○							
		実用英語	講義	1	○							
		スポーツ・健康概論	講義	1	○							
		スポーツ	実技	1	○							
必修科目(告示別表第一による教科目) [51単位以上開設 全科目取得]		保育の本質・目的に関する科目		保育原理Ⅰ	講義	2	○					
				教育原理	講義	2	○					
				子ども家庭福祉	講義	2	○					
				社会福祉	講義	2	○					
				子ども家庭支援論	講義	2	○					
				社会的養護Ⅰ	講義	2	○					
				保育者論	講義	2	○					
		保育の対象の理解に関する科目				教育・保育の心理学	講義	2	○			
						子ども家庭支援の心理学	演習	2	○			
						子どもの理解と援助	演習	1	○			
						子どもの保健	講義	2	○			
						子どもの食と栄養	演習	2	○			
				保育の内容・方法に関する科目				保育カリキュラム論	講義	2	○	
								保育内容総論	演習	1	○	
								保育内容指導法(健康)	演習	1	○	
								保育内容指導法(環境)	演習	1	○	
								保育内容指導法(人間関係)	演習	2	○	
						保育内容指導法(言葉)	演習	1	○			
						保育内容指導法(音楽表現)	演習	1	○			
						保育内容指導法(造形表現)	演習	1	○			
						保育内容指導法(運動あそび)	演習	1	○			
						子どもと健康	演習	1	○			
						子どもと環境	演習	1	○			
						子どもと言葉	演習	1	○			
						子どもと表現	演習	1	○			
						乳児保育Ⅰ	講義	2	○			
						乳児保育Ⅱ	演習	1	○			
						子どもの健康と安全	演習	1	○			
						特別支援教育・保育概論	演習	2	○			
						社会的養護Ⅱ	演習	1	○			
				子育て支援	演習	1	○					
		保育実習				保育実習Ⅰ	実習	4	○			
						保育実習指導Ⅰ	演習	2	○			
総合演習				保育・教職実践演習(幼稚園)	演習	2	○					
選択科目(告示別表第二による教科目) [18単位以上開設 9単位以上取得]		保育の本質・目的に関する科目		教育制度論	講義	2		○				
				保育原理Ⅱ	講義	2		○				
		保育の対象の理解に関する科目				教育相談	講義	2		○		
		保育の内容・方法に関する科目				基礎音楽Ⅰ	演習	1	○			
						基礎音楽Ⅱ	演習	1		○		
								幼児音楽Ⅰ	演習	1	○	
								幼児音楽Ⅱ	演習	1		○
								造形Ⅰ	演習	1	○	
								造形Ⅱ	演習	1		○
								保育指導法	演習	2		○
								子どもスポーツ	演習	1		○
		保育実習				保育実習Ⅱ	実習	2		○		
						保育実習指導Ⅱ	演習	1		○		
								保育実習Ⅲ	実習	2		○
								保育実習指導Ⅲ	演習	1		○

- 注
- 教養科目は8単位以上取得する必要がある、そのうち、「基礎英語」、「実用英語」と「スポーツ・健康概論」「スポーツ」が必修である。
  - 告示別表第一による教科目は必修であり、51単位以上開設する必要がある、本学では54単位すべて必修である。
  - 告示別表第二による教科目については18単位以上開設し、9単位以上取得する必要がある。  
内訳は、保育の本質・目的に関する科目、保育の対象の理解に関する科目、保育の内容・方法に関する科目から6単位以上、保育実習の「保育実習Ⅱ」「保育実習指導Ⅱ」と「保育実習Ⅲ」「保育実習指導Ⅲ」から3単位以上。
  - 資格取得のためには、本学を卒業することが必要であり、卒業要件を充たす単位を修得しなければならない。

# 資格取得に必要な科目一覧

## 保育士（令和4年度・5年度入学生）

科目		形態	単位数	選択・必修		
系列	科目名			必修	選択	
教養科目 [10単位以上開設 8単位以上取得]		日本の憲法	講義	2	○	
		経済と社会	講義	2	○	
		日本語表現	講義	2	○	
		情報処理演習Ⅰ	演習	1	○	
		情報処理演習Ⅱ	演習	1	○	
		基礎演習Ⅰ	演習	1	○	
		基礎演習Ⅱ	演習	1	○	
		基礎英語	演習	1	○	
		実用英語	講義	1	○	
		スポーツ・健康概論	講義	1	○	
		スポーツ	実技	1	○	
	必修科目(告示別表第一による教科目) [51単位以上開設 全科目取得]	保育の本質・目的に関する科目	保育原理Ⅰ	講義	2	○
教育原理			講義	2	○	
子ども家庭福祉			講義	2	○	
社会福祉			講義	2	○	
子ども家庭支援論			講義	2	○	
社会的養護Ⅰ			講義	2	○	
保育者論			講義	2	○	
保育の対象の理解に関する科目		教育・保育の心理学	講義	2	○	
		子ども家庭支援の心理学	演習	2	○	
		子どもの理解と援助	演習	1	○	
		子どもの保健	講義	2	○	
		子どもの食と栄養	演習	2	○	
		保育カリキュラム論	講義	2	○	
		保育内容総論	演習	1	○	
保育の内容・方法に関する科目		保育内容指導法(健康)	演習	1	○	
		保育内容指導法(環境)	演習	1	○	
		保育内容指導法(人間関係)	演習	2	○	
		保育内容指導法(言葉)	演習	1	○	
		保育内容指導法(音楽表現)	演習	1	○	
		保育内容指導法(造形表現)	演習	1	○	
		保育内容指導法(運動あそび)	演習	1	○	
		子どもと健康	演習	1	○	
		子どもと環境	演習	1	○	
		子どもと言葉	演習	1	○	
		子どもと表現	演習	1	○	
		乳児保育Ⅰ	講義	2	○	
		乳児保育Ⅱ	演習	1	○	
		子どもの健康と安全	演習	1	○	
		特別支援教育・保育概論	演習	2	○	
		社会的養護Ⅱ	演習	1	○	
		子育て支援	演習	1	○	
		保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	○
		総合演習	保育実習指導Ⅰ	演習	2	○
保育実習	保育・教職実践演習(幼稚園)	演習	2	○		
選択科目(告示別表第二による教科目) [18単位以上開設 9単位以上取得]	保育の本質・目的に関する科目	保育原理Ⅱ	講義	2	○	
	保育の対象の理解に関する科目	発達心理学	演習	2	○	
		臨床心理学	演習	2	○	
	保育の内容・方法に関する科目	基礎音楽Ⅰ	演習	1	○	
		基礎音楽Ⅱ	演習	1	○	
		幼児音楽Ⅰ	演習	1	○	
		幼児音楽Ⅱ	演習	1	○	
		造形Ⅰ	演習	1	○	
		造形Ⅱ	演習	1	○	
		保育指導法	演習	2	○	
		子どもスポーツ	演習	1	○	
		保育実習	保育実習Ⅱ	実習	2	○
	保育実習	保育実習指導Ⅱ	演習	1	○	
		保育実習Ⅲ	実習	2	○	
		保育実習指導Ⅲ	演習	1	○	

注

- 教養科目は8単位以上取得する必要があるが、そのうち、「基礎英語」、「実用英語」と「スポーツ・健康概論」「スポーツ」が必修である。
- 告示別表第一による教科目は必修であり、51単位以上開設する必要があるが、本学では54単位すべて必修である。
- 告示別表第二による教科目については18単位以上開設し、9単位以上取得する必要がある。  
内訳は、保育の本質・目的に関する科目、保育の対象の理解に関する科目、保育の内容・方法に関する科目から6単位以上、保育実習の「保育実習Ⅱ」「保育実習指導Ⅱ」と「保育実習Ⅲ」「保育実習指導Ⅲ」から3単位以上。
- 資格取得のためには、本学を卒業することが必要であり、卒業要件を充たす単位を修得しなければならない。